

はじめに

ここに、平成21年度を初年度とする、向こう3カ年の小牧市総合計画実施計画を策定しました。この計画は、第6次小牧市総合計画（平成21年度～平成30年度）に掲げる将来都市像「人と緑 かがやく創造のまち」の実現に向け、諸施策の具体的な内容を明らかにし、計画的・効果的なまちづくりを推進するために策定したものです。

第6次小牧市総合計画は、急激に変化する社会・経済情勢や本市を取り巻く環境に迅速に対応するため第5次小牧市総合計画の計画期間を1年前倒して策定しました。

第6次小牧市総合計画の特徴は、各施策においてその達成度を計るために、目標を数値化した指標を設定していることです。

そのため、本実施計画書でも、施策ごとに現状や今後の目標を数値化した指標を設定しています。この指標により市民の皆様の声を反映しながら事業の進捗や目標を明確にしています。

さて、地方公共団体を取り巻く状況は、景気が弱まっており、先行きも不透明な状況であり、非常に厳しい状況にあります。

一方で社会構造や経済状況の変化にともない、市民ニーズはますます高度化・多様化しています。

こうした中、本市においては、限りある財源を真に市民の皆様が求めるサービスに重点的に配分するなど、より一層効率的で効果的な行政運営を図るとともに、本市の特性を活かしたまちづくりを推進する必要があります。

このため、事業の実施においては、中期的な財政見通しを踏まえた上で、行政評価を活用するなど、まちづくりの目標や基本施策の目指す姿に対して有効な事業を選択し、本市の将来像の実現に努めてまいりたいと考えております。

関係機関はもとより、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成20年12月

小牧市長 中野直輝